Experiments of Basic Medical Science

Syllabus Number 7B302
Major Core Courses
Requisites 2 credit
SAKURAI, Shoji

No localized syllabus found / Showing original

1. Course Description

医学は、基礎医学の知識を土台とし、臨床系はこの知識の上にさまざまな応用・研究をおこない治療に役立てています。臨床医学を学んでいく上で、これまでに得た基礎分野の知識をより確実に理解しておくことが重要になります。臨床系へのしっかりとした橋渡しになるよう、基礎医学的事項を実習という形で体験しながら理解を深めることが目標です。基礎医学関連事項からいくつかのテーマをあげ、実習をとおして考え・調べさらにグループでの討論によりまとめあげる習慣を身につけ、知識をより確実なものにしていきます。この授業ではDP1およびDP4に関する知識、技法、態度を修得する。

2. Course Objectives

各担当教員のテーマ内容に従ってそれぞれの知識・技能を習得します。レポートでは、実習内容を的確にまとめ、実験レポートを作成できる。技能ではその知識と技能度を習熟し的確に遂行できることを目標とします。

① 超音波診断法の理論と実用を説明できる。
② 骨の構造と骨格を説明できる。
③ 脳の高次機能について説明できる。
④ 呼吸循環調節について説明できる。
⑤ 発生の基礎について説明できる。
⑥ 病理組織像の基本を説明することができる。
⑦ 脳の構造について説明できる。
⑧ 全身の構造の全容について説明できる。

3. Grading Policy

各テーマごとに、主にレポーを作成し評価します。全テーマの評価の合計が最終評価になります。
レポートは返却し、解説を掲示します。

4. Textbook and Reference

Textbook
プリントを配布します。
関連科目の使用教科書を参考にして下さい。

5. Requirements(Assignments)

小～中グループに分け、担当教員のテーマを回ります。
グループ分けと各グループのテーマのローテーション順など、内容の詳細については実習ガイダンスの時に説明します。
実習ガイダンスに注意して下さい。

6. Note

7. Schedule

[1] 実習ガイダンス
[2] 超音波診断装置の使用法、画像特性
[3] 骨の構造−1:上肢の骨格
[4] 骨の構造−2:下肢および骨盤の骨格
[5] 骨の構造−3:頭蓋の骨格
[6] 骨の構造−4:脊柱および胸郭の骨格
[7] 脳高次機能について−1:聴覚機能およびその脳内機構
[8] 脳高次機能について−2:情動の心理学と生理学
[9] 運動時の呼吸循環調節(全身性反応)
[10] 運動時の呼吸循環調節(局所性反応)
[11] 生命誕生・しなやかな心臓・血管
[12] 病理組織解析入門
[13] 脳の構造
[14] 解剖見学実習:事前オリエンテーション
[15] 解剖見学実習